

大学と地方政治の 連携基盤構築を 目指す研究会



EBPMを活用。産官学金体制で「次世代スマートリージョン」を実現！

地方議員
のための
勉強会

第四回

自然環境と都市環境

地方の人口減少を簡単に止めることはできません。その中で、いかにすれば、荒れ放題の地域を少しでも保全できるのか、どのような仕組み、アイデアが考えられ、これらを阻む課題は何なのか。自然環境の保全及び都市環境の形成について実例からお話いただきます。

2022年
(令和4) **5月18日[水]**

会場：金沢勤労者プラザ
金沢市北安江3-2-20 4階・406研修室

第一部

10:00~12:00

計画とモデル

まちづくりなど公共政策・公共事業における計画やその立案プロセスの意義、それに必要とされる要件などを考えた上で、数値として予測するモデルや分析の必要性・重要性について考える。そして、金沢のまちづくりについて話題提供を行う。

講師



中山 晶一朗 (なかやま しょういちろう)
金沢大学 融合研究域融合科学系 教授

専門は未来社会デザイン。平成7年京都大学工学部卒業、平成9年京都大学大学院工学研究科応用システム科学専攻修士課程修了、平成12年京都大学大学院工学研究科土木システム工学博士課程修了・京都大学博士(工学)。

第二部

13:00~15:00

自然環境の保全と 持続可能社会の構築

能登半島の管理放棄森林や、農耕地放棄地、圃場整備などの過去から現在までの変遷や、それに伴う流域の環境や水質の変化、結果としての沿岸の水草や魚、漁業に及ぼす影響について、本研究会のテーマとなっているEBPMに沿って、お話いたします

講師



長尾 誠也 (ながお せいや)
金沢大学環日本海域環境研究センター長・教授

博士(水産学)。専門は地球化学・環境放射化学・海洋化学。日本原子力研究所(現在、日本原子力研究開発機構)、北海道大学大学院環境科学院を経て金沢大学環日本海域環境研究センター教授として赴任、2016年度より現職。共同利用・共同研究拠点「越境汚染に伴う環境変動に関する国際共同研究拠点」の推進とともに、陸域と沿岸海洋を物質動態の観点で結合する研究、福島原発事故の環境影響評価研究等を実施している。

EBPMを活用。産官学金体制で「次世代スマートリージョン」を実現！

行政機関の仕事のあるべき姿に立ち返るための仕組みとして、今期待されているのが「EBPM」です。行政機関においては、民意によって選ばれた議員の声やさまざまなアンケートの結果、有識者の意見を参考にしながら、何らかの根拠に基づいて政策を立案・実行していました。エビデンスとなるデータを集めようにも、予算や資源、人材の面で限界がありました。しかし近年、ビッグデータや人口知能AIの活用により膨大なデータから一見見えにくい傾向の抽出が可能になりました。さらに、SNSやネット上の膨大な情報やIoTを活用し、実社会の克明な動きを把握することも可能となりました。EBPMは、ICTが急激に進化したからこそ、実践できるようになった考え方だといえます。このEBPMの基盤となる様々なデータや最新技術に関して、大学教員と情報交換を行い、地域の産官学金連携体制の構築や、未来につながる社会実験を、地方議員による政治主導で推進し、制度化・政策化を実現していくため、本研究会を企画・開催します。

第四回

自然環境と都市環境

2022年（令和4）5月18日 [水] 第一部10:00～12:00 / 第二部13:00～15:00

金沢勤労者プラザ 金沢市北安江3-2-20 4階 406研修室 TEL.076-221-7771

対象：県会議員・市町村議員30～50名程度

参加費：15,000円（1部・1講座あたり/税込）※午前・午後どちらの部にもご参加の場合30,000円

メールにてお申し込み頂くか、以下申込書に必要事項をご記入いただき、FAXにてご送信ください

参加部会	✓をご記入ください		
	<input type="checkbox"/> 第一部 計画とモデル	<input type="checkbox"/> 第二部	自然環境の保全と 持続可能社会の構築
所属 (議会名・会派名など)			
氏名	ふりがな		
住所	〒		
電話番号 (携帯電話)		FAX 番号	
e-mail	日常的に受信できるPCアドレス		
領収証の要・不要	<input type="checkbox"/> 必要 宛名▶議会名・会派・氏名・その他()		<input type="checkbox"/> 不要
特に学びたい内容や、 教授への質問、その他 ご要望がございましたら お聞かせください。			

※ご記入頂きました個人情報、本事業の実施・運営にのみ利用いたします。

参加お申し込み先
FAX:076-298-8904

labo@r-sr.co.jp

Facebook
@regionalrevital

